

第26回全国女性消防操法大会、出場 —青森女性消防隊が全国の舞台に挑む—



本県代表として第26回全国女性消防操法大会に出場する青森市青森消防団青森女性消防隊は、10月10日、青森県庁を訪れ、宮下青森県知事を表敬訪問しました。表敬には出場隊7名のほか、青森市青森消防団柳谷団長、青森県消防協会山形会長が同行し、全国大会に向けた意気込みを伝えました。

柳谷団長からは「昨年度から厳しい訓練を積み重ねてきました。一人一人がチームの誇りを胸に、日頃の成果を発揮できるよう心を一つにして大会に臨みます」との決意が述べられました。

また、出場隊隊長の柳谷本団分団長から、9月14日に開催された「青森みんなの防災フェア」で披露した操法訓練の様子を動画で報告し、本番まで1ヶ月を

全国大会出場に向け知事表敬

第26回全国女性消防操法大会は、女性消防団員の消防技術の向上と士気高揚、さらには全国各地の女性消防団員相互の交流を目的として開催される全国規模の大会で、各都道府県を代表する精鋭部隊が一堂に会し、日頃の訓練成果を競い合う場です。本県からは、青森市青森消防団青森女性消防隊が青森県代表として出場しました。

全国女性消防操法大会とは

切った現在の仕上がり状況を報告しました。宮下知事からは「男性のイメージが強い消防団において、女性が全国大会で活躍することは極めて意義深い。長期間にわたる訓練の成果が、地域にとって大きなプラスとなることを期待しています」との激励の言葉が贈られ、選手たちは改めて大会に臨む決意を新たに、士気を一段と高めました。



全国の舞台で健闘 青森女性消防隊が渾身の操法

急ぐ日も
足止め火を止め
準備よし

消防協会ホームページ



大会前日の10月27日には、神奈川県横浜市の大さん橋ホールにおいて激励交流会が開催されました。交流会は、全国大会に出場する選手を激励するとともに、消防関係者の交流と士気高揚を目的として行われているもので、来賓の方々のほか、消防応援団、応援ゲスト、関係者など約600名が参加しました。会場は熱気と期待感に包まれ、翌日の大会本番に向け、選手一同の士気は大いに高まりました。

翌28日、赤レンガ倉庫前を会場に本大会が開催され、本県代表として出場した青森市青森消防団青森女性消防隊は、観客や関係者が見守る中、完成度の高い操法を堂々と披露しました。各出場団はいずれもスピードと正確性を兼ね備えた高度な操法を展開し、ハイレベルな競技が続く中、本県代表隊も一糸乱れぬ動きと迅速な操作で会場を沸かせました。

競技の結果、タイムは48.96、審査総合得点は77.5を記録し、敢闘賞を受賞しました。全国の強豪チームが集う中での健闘は、本県女性消防団員の高い技術力と結束力を全国に示すとともに、今後の女性消防団活動のさらなる発展に向けた大きな励みとなりました。

青森市青森消防団 出場選手

隊長	本団分団長	柳谷	恵美子
指揮者	副分団長	工藤	美佳
1番員	団員	福井	かおり
2番員	団員	谷	咲桜
3番員	団員	坪	裕子
4番員	団員	今	佳澄
補助員	団員	鳴海	広美

※第26回全国女性消防操法大会結果の詳細は、日本消防協会ホームページからご確認ください。

令和7年
秋の叙勲・褒章受章者

☆令和7年秋の叙勲受章者が11月3日付で発表されました。

【瑞宝双光章】

五十嵐 睦三（元藤崎町消防団団長）
久保 政廣（元六ヶ所村消防団団長）
熊谷 利一（元弘前市消防団団長）
宮野 成厚（元大間町消防団団長）

【瑞宝单光章】

磯島	長利	小野	高坂	今野	坂野	山内	下佐	宿野	須藤	高橋	高松	中村	中村	原田	福山	三上
功	等	昭	昭	廣	三	康	悦	一	博	彦	誠	司	雄	美	德	夫
(元八戸市消防団分団長)	(元中泊町消防団副団長)	(元五所川原市消防団分団長)	(元六戸町消防団分団長)	(元青森市青森消防団分団長)	(元むつ市消防団分団長)	(元八戸市消防団分団長)	(元十和田市消防団副団長)	(元平内町消防団分団長)	(元青森市浪岡消防団分団長)	(元弘前市消防団副団長)	(元野辺地町消防団副団長)	(元田子町消防団副団長)	(元青森市青森消防団副団長)	(元つがる市消防団副団長)	(元新郷村消防団副団長)	(元平川市消防団副団長)

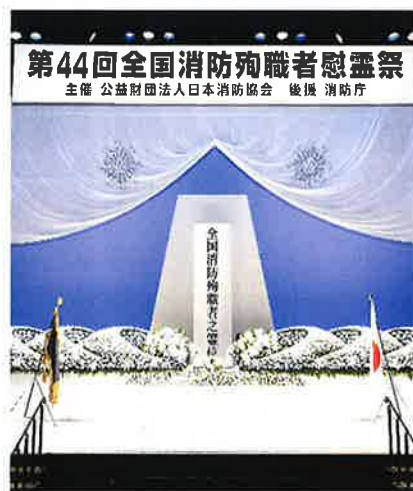
☆令和7年秋の褒章受章者が11月3日付で発表されました。

【藍綬褒章】

奥本康彦（五戸町消防団副団長）
坂本春彦（大間町消防団副団長）
相馬静（平川市消防団副団長）

受章者の皆さん、おめでとうございます。益々のご活躍を祈念いたします。

尊い功績を後世へ
第44回全国消防
殉職者慰霊祭



公益財団法人日本消防協会主催による「全国消防殉職者慰霊祭」が、令和7年9月11日（木）、東京都虎ノ門のニッショーホールにおいて厳粛に執り行われました。

本慰霊祭は、消防の使命を全うする中で尊い犠牲となられた全国消防殉職者及び消防協力殉難者の功績を称え、その御霊に深甚なる敬意と感謝の誠を捧げることが目的として毎年開催されています。

当日は、当時の内閣総理大臣 石破茂氏をはじめとする来賓のほか、全国から参列したご遺族や消防関係者など約500名が出席し、使命に殉じた消防団員・消防職員の御霊に哀悼の誠を捧げました。

日本消防協会では昭和57年から毎年本慰霊祭を挙行しており、本年は新たに5柱の御霊が合祀されました。これにより、明治5年以降の消防殉職者等の御霊は、合計5,795柱となりました。

式典では、御霊の奉納、国歌斉唱の後、内閣総理大臣をはじめ来賓および遺族代表から追悼のことが述べられ、参列者による献花が行われました。

その後、日本消防協会の秋本敏文会長が



式辞に立ち、「殉職された皆様は、消防使館達成のため全力を尽くされた中でのことであり、そのご尽力に深く感謝し、心から敬意を表します」と述べました。

また、近年の自然災害の激甚化や消防団員の減少など、消防を取り巻く厳しい状況に触れ、「今後とも事故防止に万全を期し、尊い犠牲を決して無駄にすることのないよう努めていきたい」と決意を新たにし、殉職された御霊の安らかなご冥福とご遺族のご健勝を祈念しました。

なお、青森県からの参加者は、式典にあわせて日本消防会館屋上にある慰霊碑を参拝し、殉職された方々の御霊に静かに手を合わせ、改めて消防の使命と責任の重さを胸に刻みました。

4

STROKE

VF63BS

VF53BS

B-2 級

B-3 級





クラス
最軽量

乾燥質量比較(セルスタータ式)

機種	乾燥質量 (kg)
VF53BS/VF63BS	84.5
VC42AS/VC42BS VC72BS	85.0
VF53AS/VF63AS	98.0

消火・排水対応



〒174-0051

東京都板橋区小豆沢 3-5-4

03-3966-3115 FAX 03-3966-0090

モリタ式各種消防ポンプ自動車
トーチカ各種小型動力ポンプ
キンパイ、消防用各種ホース
消防服、防火衣、刺子外套
コミュニティー防災資機材
防災、防護、消防用品



振り纏いM-3型

有限会社 丸 栄 消 機

〒030-0903
青森市栄町一丁目12-1 TEL017-742-1186 FAX741-8931

照会事項では、入団促進策、消防団協力事業所への優遇措置、分団合併の工夫、女性消防団員の加入促進、ドローンの活用状況、冬期防災訓練、デジタル技術の活

会議の最後には、次回の開催地を山形県とし、令和8年7月16日および17日に開催することが決定しました。

翌21日は、十日町市内において視察研修を実施し、本年の消防大会（表彰式、操法大会等）を開催した十日町地域消防本部十日町地域消防署などを視察しました。消防設備の状況や、持ち回り開催による大会運営上の課題、今後の対応等について説明を受け、今後の事務局運営に資する多くの示唆を得る有意義な研修となりました。



今年には本県から五所川原市消防団が活動事例発表を行い、救急搬送に備えて既往歴や服用薬などを記入しておく「緊急連絡カード」の普及活動について紹介しました。地域住民の安心・安全につながる取組として、会場からも高



なお、次回の第31回大会

は、令和8年9月25日に北海道札幌市の札幌コンベンションセンターを会場に開催される予定です。開催テーマは「『イラン』です。開催テーマは「『イラン』クラブ」緑豊かな北の国へ笑顔を守る女性消防団員」とされており、次回大会にも大きな期待が寄せられています。

古林わかな 団員

女性消防団員活性化大会に初めて参加した。他市町村がどんな活動をしているのか、ほとんど知る機会がなかったために、沢山の学びを得ることができた。ラジオをしたり、ホースでキーホルダーを作ったり、オリジナルかるたを作っていたり、定例会に子供も参加してもらったり等、各市町村で行っている活動はどれもどんどん取り入れていきたいと思うものであった。女性も男性同様に活躍している姿や女性だからこそできることがあるという考え方等、純粹にかっこいいなと思えながら先輩方の活動を参考にしながら今後の活動に活かしていきたいと感じた。私自身、消防団に入団してから消防団らしい活動を活発的に行うことができておらず、貢献できていないと感じ

ることが多かった。このままでは新入団員も入ってくれるわけもなく、地域の安心安全を守れないので、この大会を機に今後はより一層貢献していきたいと感じた。

山下綾子 本部付分団長

長崎に来るのは勿論、第30回全国女性消防団員活性化長崎大会に参加する事を楽しみにしていました。発表した方々はとても勉強しているし、頑張っているなあと思いました。発表を聞くと、ラジオを使った活動が増えているようです。高齢者や一人暮らしの訪問は、私達深浦町でもやっています。もっと違う事も出来るのではないかと模索していますが、中々結果に結びついていません。紙芝居、防災かるた、これだったら活動に取り入れられるのではないかと思います。今日学んだ事を地元を持って帰り、団員達と話をして、頑張っていきたいと思います。



アルミ製蓄圧式粉末消火器
アルテシモ



022-785-8113 (モリタ宮田工業 東北支店)

県内消防団の活動紹介

青森市青森

大規模火災を想定 ホース延長放水訓練



青森市青森消防団は、令和7年11月9日、青森市スポーツ公園周辺において、「令和7年度大規模火災消防団ホース延長放水訓練」を実施しました。この訓練は、大規模火災発生時に少数の消防職員と消防団が連携して現場活動に当たることを想定し、連携強化と活動能力の向上を目的として行われたものです。

訓練では、横内川から可搬式ポンプで揚水し、ポンプ車を経由して中継放水する訓練や、全延長約1キロに及ぶホース延長、模擬火点への放水訓練、無線を使用した指揮・情報共有訓練などが行われました。

当日は、消防職員と消防団員が互いに確認や質問を重ねながら訓練に取り組む姿が見られ、日頃からの訓練とコミュニケーションの重要性を改めて感じさせる、有意義な訓練となりました。

弘前市・県協会 津軽の食と産業まつり 消防団PRを実施



津軽地域最大規模の物産展「津軽の食と産業まつり」が、令和7年10月17日から19日までの3日間、弘前市運動公園を会場に開催されました。本まつりは、昭和50年度に「弘前市産業生活展」として始まり、名称や形式を変えながら約40年以上にわたり継続して開催されている歴史あるイベントで、例年5万人以上（主催者発表）が来場するなど、地域に大きな賑わいをもたらす催しです。

当日は、津軽地域を中心とした多くの食

品・工芸品・生活関連事業者が出展する中、青森県消防協会および弘前市消防団も消防団PRブースを設営しました。弘前市消防団では、纏振り演技の披露や梯子の展示、消防団に関するアンケート調査などを実施し、来場者に消防団の活動を広く紹介しました。青森県消防協会では、「あおもり消防団応援の店」のPRに加え、手作りの纏ペーパーラフト体験コーナーを設け、子どもから大人まで幅広い世代が体験を楽しみました。

期間中は悪天候の日もありましたが、纏振りや梯子の展示に足を止めて見入る来場者も多く、ペーパーラフト体験では、自分の名前やねぶた柄などを描いてオリジナルの纏づくりを楽しむ姿が見られ、終始にぎやかな雰囲気の中で消防団PRを行うことができました。

さらに、イベントを通じて「あおもり消防団応援の店」への新規登録につながるなど、消防団活動への支援の輪が広がる機会となりました。

黒石市 黒石りんごまつり 消防団PR活動を実施

令和7年11月22日および23日の2日間、黒石市スポカルイン黒石において「黒石りんごまつり」が開催され、黒石市消防団および黒石市女性防火クラブが参加しました。

会場では、黒石市消防団の女性消防団員が中心となり消防団PRブースを設営し、防火啓発グッズの配付のほか、子ども向けに活動服や半纏の着用体験を実施しました。

りんごの即売や各種イベントでにぎわう会場の中、ブースには家族連れをはじめ多くの来場者が立ち寄り、消防団や防火活動について関心を寄せている様子がうかがえました。地域の一大イベントを通じて、消防団活動や防火意識の普及啓発を図る有意義な機会となりました。



令和7年 青森県褒賞

☆令和7年青森県褒賞受賞者が11月15日付で発表されました。

次の5名が消防業務に精励し、公益と民生の安定に貢献したとして顕彰されました。

石橋 薫（南部町消防団団長）
松下 志美雄（六ヶ所村消防団団長）
工藤 順一（元つがる市消防団団長）
横濱 豊（野辺地町消防団団長）
蒔苗 浩明（弘前市消防団副団長）